

香川大学事業継続管理シンポジウム開催

香川大学危機管理委員会では、大規模地震災害等により大学の重要業務が中断された場合でも、業務中断を最小限に止め早期に業務を再開し、防災教育研究拠点としての役割を果たすため、平成 22 年 7 月に「事業継続計画等策定専門部会」を設置して以降、「基本コンセプト」各キャンパス共通の「マニュアル骨子案」の策定を経て、平成 24 年度は「工学部キャンパス BCP」を策定しました。

大学の BCP が目指す方向性について広く意見を求め、より意義のあるまた実行性のある計画にすることを目的として、第 3 回シンポジウムを開催しました。

第 1 部では長谷川修一研究員（工学部教授）が香川大学工学部キャンパスの BCP 活動について報告を行い、第 2 部では、セコム I S 研究所主任研究員の三島和子氏による特別講演 I 『レジリエンスについて』、東京海上日動リスクコンサルティング(株)上席主席研究員の指田朝久氏による特別講演 II 『ISO規格、BCP最新動向』を行いました。

行政や企業、一般市民の方々が参加し、熱心に話に聞き入っておられました。

今後も防災・危機管理に関する教育研究活動を通して、地域防災力の向上に努めて参ります。今後ともご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(長谷川研究員)



(講演の様子／三島氏)



(講演の様子／指田氏)



(意見交換の様子)

